



大野市教育委員会たより

令和元年6月6日発行 第3号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町 1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと考えておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：5月31日（金）午後7時～9時15分 次第 ・教育長挨拶
場 所：上庄中学校体育館 ・1部 説明「大野市の教育について」
対象者：上庄中学校保護者（出席者12人） ・2部 意見交換「大野市の教育環境について」

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

◎学校再編の時に一般の方が判断できるような材料を出して欲しい。2校だったらどれだけの経費がかかり、バスは何台必要だとかの材料を。クラブ活動は市で管理していると思うがどうなっているのか。

⇒ ■クラブ活動は、市で管理ではなく学校単位で行っている。上庄中では以前、ソフトボール部の人数が少なく、陽明中と合同で試合に出ていた。子どもたちに出来る限り部活動の経験を多くさせたいために、合同チームが認められるようになってきた。県中学校体育連盟の規定により認められるようになった。

⇒ ◎他の学校でソフトボールをしたい場合、市全体の形になると思うが、そのような構想はあるのか。

⇒ ■現在はない。市全体による大会参加は、県中学校体育連盟が認めていない。他の市町でもそのような現状になれば、連盟も考えると思う。民間の大会では、市外の中学校と合同で出場できる規定を設けている。

◎どういうふうに意見を集約していくのかが大切。住民投票で意見を集約するべきと思うがどうか。

⇒ ■学校数と再編時期、再編方法を見直すために、ご意見を伺うこととしている。

⇒ ◎意見交換による意見が少なかった場合、現行の再編計画で進める場合もあるのか。

⇒ ■再編計画は撤回した訳ではない。意見が少なかったから、同じ計画内容になるとは考えていない。

⇒ ◎私たちの案がちゃんと反映されるのか。反映するための部署が今の段階であるのか。

⇒ ■意見交換会で出された意見やアンケートでの意見は、ホームページなどで公開していきたいと考えている。検討する組織はまだ出来ていない。

◎上庄は、地区に学校を残して欲しいという人が多いと思う。その意見が採用されるのかどうかの不安がある。意見集約がどのような形で反映されるのか。いろいろなパターンをシュミレーションして、経費をしっかりと出して欲しい。

⇒ ■そのような意見をご提案としていただきたい。再編計画は、何年もかけて策定している。今は、立ち止まって、改めてどんな形がいいかを考えていくこととしている。

◎経費のことや部活のことがあるが、何のために再編をしていかなければいけないのか。

⇒ ■経費の説明は、他の市と同様に大野市も教育費にお金を掛けている現状を理解していただくために説明をしている。子どもたちの勉強や部活動など、どのような教育環境が望ましいのか、その姿がはっきりすれば、それに向かって学校の在り方があるのではないかとということで検討している。今の状態が決してベストな状態であるとは考えていない。

◎上庄、尚徳は陽明や開成の子と比較すると、おっとりしている。小規模校のため、大人の目が届きやすいなどのメリットがあるが、競争心がないとか、居心地が悪い子にはつらいと思う。小学校でクラブをやっている、中学校でその部活がないから、競技を断念するか、競技を続けるために福井などの学校へ行く子もいる。中学校1校となった時、行き場がない子は変わらない。2校ぐらいに分けるのが理想だと思う。

◎小学校は地域に残し、中学校は2校ぐらいで仕方がないと思う。

- ◎上庄に小学校を残してほしい。中学校は、ソフトボール部の人数が少なく他の部から借りてくることも考えている。部活の種類は、中学校で決めているのか。
 - ⇒ ■部活の原点は子どもの特技を伸ばすことにあり、自分の良さを見つける場だと思う。勝つことが目的になってしまっているケースがあるが、教育活動の1つと考えれば、合同チームで出ることが本当にいいかは疑問である。
- ◎小学校は地元に残してほしい。地域と密着した活動が多い。子どもが小さいうちは、地域で育てるという考えは素晴らしいと思っている。中学校は、野球部がギリギリで成り立たない状況であり、合併を進めてほしい。市内で校風の違う学校が切磋琢磨して、意見を共有し合えるといいと思う。
- ◎再編は難しい。自分の子は友人を作れるタイプではなく、心配していた。みんなが受け入れてくれて、中学校まで同じメンバーだったので有難かった。高校では自分らしさを持ったまま通っている。子どものベストな環境は良く分からないが、1クラスの上庄で良かったと思っている。
 - ⇒ ■不登校にもいろいろな原因がある。学校の人数が多い、少ないは関係ないのかもしれない。
 - ⇒ ◎自信があるかないかは、この先で変わっていくと思う。自信を持てる環境で育ててあげたい。ベストな環境とは何か、本当に分からない。極論、人口が減ることに合わせて学校を減らしていくと、大野全体が小さくなってしまふ。大野自体が力がない、魅力がない感じになり、外へ出てしまう人が増え、大野自体がどんどん小さくなる気がして寂しい。
- ◎中学校1校は行き過ぎだと思う。他の学校と競い合うのも必要。最終的に1校にする時期が来るかもしれないが。小学校は小さくなってきているが、各学校で頑張っている。小規模の学校を見ていると可哀想なので、早く進めてほしいと思う。ある友人からは、学年に1人だけだと比べる相手がなくてさみしいと子どもが言っていたと聞いた。
- ◎子どもたちの環境として一番望むのは、小学校の間だけは地元で育てたいと思うが、学校行事が成り立たなくなるような状況は望ましくないと思う。中学校については、最低2校は必要と考える。9年間安心した状況で過ごせることはいいことだが、新しい考え方が入って来ないことで、気付かないことがどんどん増え、高校に入ったとき、突然、不適應を起こすことがあるかもしれない。上庄という地域性は良いが、考えの多様性が失われる場合もあるので、新しい時代に必要な創造性や力がつけられない可能性もあるかと思っている。再編する場合は、子どもたちに負担がかからない形で考えてほしい。
- ◎中学校と小学校では、根本的に問題が違うと感じる。中学校が直面しているのは部活の問題。一緒に議論しているが、抱えている問題が違うので中学校を先行して考えるなどをしないと、先に進まないと思う。
- ◎学校再編については、いろいろな考えがあり、正解がない。現再編計画で評価している部分が1つある。再編のスタートラインをそろえたところである。行政が考える時間軸は30年、50年先を見据えたものだが、住民は5年、10年先を考えるため、ズレが生じている。上庄の9年間を良いと言う人もいれば、環境が変わらないことに不安を感じている人もいる。子どもの時の時間は大切に、稲郷と木本では登校や下校に要する時間が違う。再編するときは、この時間も考えてほしい。
- ◎上庄の縦のつながりの良さは、他の地区にはないと思う。地域密着で、上庄の団結心はずごい。再編で様々な心配や不安などを考えるとどれが正解か分からない。大野高校でも野球部の人数が揃わないこともあるので、再編し人数が多いから部活が成り立つとは限らない。実家は県外だが、子どもの目の輝きが違うので、もう一度子育てをすとなつた場合、大野でいたいと思っている。
- ◎小学校は地域に残してほしい。自分の生活の一端をとられるような気がしている。再編計画が出たとき、子どもが上庄小学校がなくなることに対して寂しそうにしていた。中学校は部活の問題が一番であるが、選択肢が増えることでストレスになるのではないかと考えている。部活だけを市全体でつくるのがいいのではと思っている。複式のある学校の再編は、その地域で進めていただき、上庄は別で考えてほしい。
- ◎小学校の再編で他の学校が賛成した場合、反対が1校になつても上庄を残したいと思うか。
 - ⇒ ◎残したいと思う。
 - ⇒ ◎小規模の学校のような人数になつた場合は考えてしまふ。その時になつて慌てても遅いのではないか。
 - ⇒ ◎地区を存続させようと思つたら、学校がないと住む意味がなくなる。若い親世代は外に出てしまふ。のんびりした環境で子育てできるということで人を呼び込むべきである。

お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。